

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	職員本位の物品の使用、安全確保という名目の施錠の改善	入居者本位の視点に切り換え、可能な限り、物品の使用を控える。また、施錠に関しても、いきなり終日開錠するのではなく、まずは可能な時間帯から、開錠に向けての取り組みを実施する。	外部評価後、すぐにエプロンの使用方法について話し合いを持ち、家族様の要望がある方以外は、タオルの使用としました。マットの使用もカンファを持ち、使用数を減らしました。施錠については、まずは、時間を区切って実施する予定にし、最終的には、終日開錠に持ち込むつも	12月
2	17	災害対策において、近隣住民の協力が不十分で有る事、また消防署等の社会資源の有効な協力を得られて無い事。	運営推進会議等を有効に活用し、まずはGHの理解を深めて頂く事。また、消防署等に協力を要請し、災害時の対応等をレクチャーしてもらう。	自治会長様を中心に、GHへの見学等を勧めてみる。消防署等にも、避難訓練時に、AEDの使用方法や、救急時の対応の講習をして頂く。	12月
3					月
4					月
5					月